

国道1号「藤枝バイパス」及び「島田金谷バイパス」4車線化の早期完成に関する意見書

静岡県中部地域に位置する本市は、南アルプスを源とする大井川の恵みを受け、東海道五十三次 23 番目の島田宿と 24 番目の金谷宿は「川越しの宿場町」として、歴史と文化を育み、交通の要所となっています。

現在では、国道1号を中心に東名高速道路、新東名高速道路、富士山静岡空港、そして重要港湾御前崎港を結ぶ交通結節点として、物流や人の交流が盛んな地域であり、国土交通省で事業を進めていただいている「国道1号島田金谷バイパスの4車線化」については、市をはじめ地域住民ともども心より感謝するとともに、早期完成の日を待ち望んでおります。

更に、本年3月には新規事業として「国道1号藤枝バイパスの4車線化」の決定を受け、島田金谷バイパスを含む菊川インターチェンジ西側市境から広幡インターチェンジ区間の21.1km区間の4車線化が実現することとなり、朝夕の慢性的な渋滞解消やインターチェンジ付近での交通事故減少などに大きな期待を寄せているところであります。

この4車線化につきましても、島田金谷バイパス同様に早期完成するようご尽力をお願いいたします。

また、島田市東部に位置する東光寺インターチェンジは、静岡・東京方面へのハーフインターチェンジとなっていることから、4車線化に合わせてのフルインターチェンジ化整備を強く要望します。

これらの整備により、浜松・名古屋方面及び富士山静岡空港への円滑な輸送ルートが確保されるとともに、想定されます南海トラフの大規模地震などに備える防災機能の向上が図られ、交通拠点として地域にもたらすストック効果は大きなものであります。

以上のことを踏まえ、一日も早い4車線化の完成に向け整備に必要な予算の確保について強く要望します。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成28年6月28日

静岡県島田市議会

衆議院議長
参議院議長
内閣総理大臣
総務大臣
財務大臣
国土交通大臣

} 様